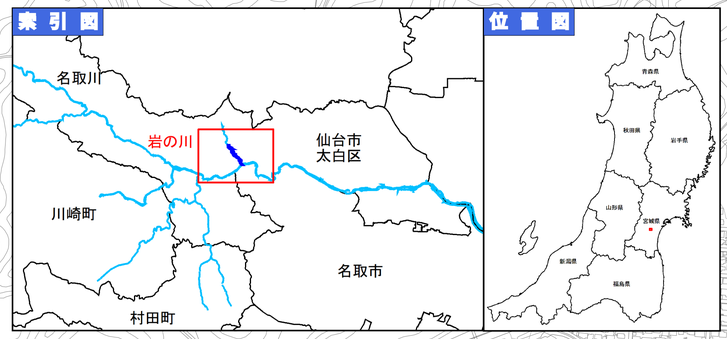
名取川水系岩の川　洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1. 説明文

（1）この図は、名取川水系岩の川の下記の区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域等は、指定時点の岩の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により岩の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

（1）作成主体	宮城県
（2）指定年月日	令和７年５月30日
（3）告示番号	宮城県告示第366号
（4）指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条 第２項
（5）対象となる河川	
名取川水系岩の川（実施区間）	
	左岸：仙台市茂庭字町田地先から名取川への合流点まで
	右岸：仙台市太白茂庭字愛宕山地先から名取川への合流点まで
（6）指定の前提となる降雨	名取川水系岩の川　　岩の川流域の１時間雨量120.0mm
（7）関係市町村	仙台市

凡　例

- 市町界
- 実施区間（管理上流端／解析上流端／解析下流端）

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 10.0 ～20.0m未満
- 5.0 ～10.0m未満
- 3.0 ～ 5.0m未満
- 0.5 ～ 3.0m未満
- 0.5m未満

S=5,000

100　0　100　200　300　400m

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6 JHs　969を加工